

ドローンによるかんしょの防除作業を県域で受託開始

JA鹿児島県経済連

経緯

<背景> 従来、個人生産者が動力噴霧器のホースを引き、かんしょを踏まないよう足場に注意しながら、炎天下で防除作業（約2時間/ha）を実施していた。
<目的> かんしょに使用できるドローンに適した農薬の登録をきっかけに、生産者の労力負担軽減のため、ドローンによる省力的な受託防除を開始。



農薬散布の様子

取組概要

- 県経済連若手職員6名をオペレーターとして育成・配置。
初年度は地域を限定して実施。
- JA組合員から作業申請 → JA・県経済連職員によるほ場確認・薬剤選定 → オペレーターによる防除作業。
- 約2時間の作業が約20分に時間短縮。価格は約2,600円/10a（薬剤費込、料金は薬剤により変動）。
- 今後は、ばれいしょ、大豆、さとうきびも対象にするとともに、県内の幅広い地域でサービス展開予定。

実施時期	2019年開始
対象作物	かんしょ・水稲（約36ha）
導入機体	DJI製MG-1SA 3台

メリット

- 農薬散布計画の作成や薬剤の準備等、防除に関する一連の作業をまとめて請負い、生産者の負担を軽減。
- 葉やつる等が繁茂したほ場に踏み入らずに防除可能なため、作物を傷めない。